

■ 発表概要

関西大学が主催する「ハックアカデミー」のプログラムの一環として、京都府舞鶴市で4日間の短期合宿型フィールドワークを実施。「地域の愛をカタチに」をテーマに、舞鶴の課題発見と地域活性化策の提案を行った。

■ 活動内容

フィールドワーク

- ・舞鶴赤れんが倉庫の見学
- ・吉原地区の歴史・建築調査
- ・地域住民・起業家へのヒアリング
- ・他大学チームとの意見交換

成果物

- ・吉原地区向けイベント4案の提案（スタンプラリーほか）
- ・重要伝統的建造物保存地区申請を意識したコンテンツ設計
- ・赤れんがをモチーフにしたトートバッグの商品開発案
- ・2社（有限会社三菱商事・好街プロジェクト）との連携打診

■ 主な学び・気づき

- ・エゴにならないこと：常に相手の視点に立ったイベント設計・記事制作の重要性
- ・失敗を恐れずに行動することの価値：案を出し続けることで学びが生まれる
- ・好きなことをする生き方の魅力：舞鶴で活躍するデザイナーとの出会いから
- ・歴史の重要性：先人の思いを受け継ぐことが地域の中身ある観光につながる

■ 審査員コメント

「たった4日間で地域の愛を形にするという本質にたどり着いた点が評価できる。既存×既存の発想から生まれた女性向けイベント提案は低コストかつコンテキストを踏まえた戦略的なアプローチ」（工藤審査員）

「舞鶴でキラキラ活躍する方々を見て、知らない土地で好きなことをすることのきっかけよさに気づいたことが印象的」（鈴木審査員）

■ 今後の展望

デザイナーとしての世界観を活かした商品開発を継続。地域に長く愛用されるアイテムを通じて舞鶴の記憶・ブランドを広める。現地企業との連携を深め、具体的な商品化を目指す。

